

TOPICS

東北農業研究センター 公開シンポジウム

リンゴ特別栽培の技術体系と 安全・安心による産地振興の可能性

東北農業研究センターが中心となって、平成17年度から5カ年実施されてきた農研機構交付金プロ、地域農業確立総合研究「東北地域における農薬50%削減リンゴ栽培技術体系の確立」の成果紹介と意見交換を目的として、平成22年2月5日に”サンセール盛岡”で公開シンポジウムを開催しました。プロジェクト主査の東北農研岡所長の挨拶に続き、性フェロモン剤を活用した殺虫剤の削減技術、病原菌の感染生態の詳細な解明に基づく殺菌剤削減技術、さらに量販店との相対取引により農薬削減リンゴの有利販売を実現する産地マーケティングの有効性検証等の研究成果が報告されました。こうした成果の紹介に続くパネルディスカッションでは、現地実証試験地を提供していただいた岩手中央農協のりんご部会長、産地マーケティングを推

進された同農協の園芸特産課長、相対取引先（株）フジの青果物担当バイヤーにパネラーとしてご出席いただき、農薬削減による産地新興の可能性について多面的な議論が行われました。

このシンポジウム開催に合わせて、研究成果を基に編集・発行した「農薬50%削減リンゴ栽培マニュアル」を、全参加者に配付することができました。広い会場には、東北各県や長野県などリンゴ主産地の試験研究機関、普及指導機関、地域の生産者組織などから177名の方々の参加と熱心な意見交換に、本プロジェクトの研究成果に対する期待の高さを実感した公開シンポジウムとなりました。

（省農薬リンゴ研究チーム 高梨 祐明）

